

2022.06.03

福岡県糸島市

可也山(かやさん)365Mの

イチヤクソウ、ユウゲショウ、ハナミョウガ、コナスビ



イチヤクソウ(一葉草)  
ツツジ科



ユウゲショウ(夕化粧)  
アカバナ科 帰化植物  
別名: アカバナユウゲショウ  
原産地: 南米から北米南部



ハナミョウガ(花茗荷)  
ミョウガ科



コナスビ(小茄子)  
サクラソウ科

行程：右図のとおり  
師吉(もろよし)登山口～石切場跡  
～可也神社～可也山365m山頂  
～可也山展望台の折り返し

🕒 タイム 📍 距離 ⬆️ 上り ⬇️ 下り  
**03:21** **4.1 km** **391 m** **392 m**

🏃 平均ペース ⓘ 標準 **90 ~ 110 %**



7/03 10:21



おはよう

おはよう

おはよう

2022/06/03 7:57  
師吉 (もろよし) 登山口駐車場





2022/06/03 8:00



可也山(かやさん) 365m

2022/06/03  
7:58



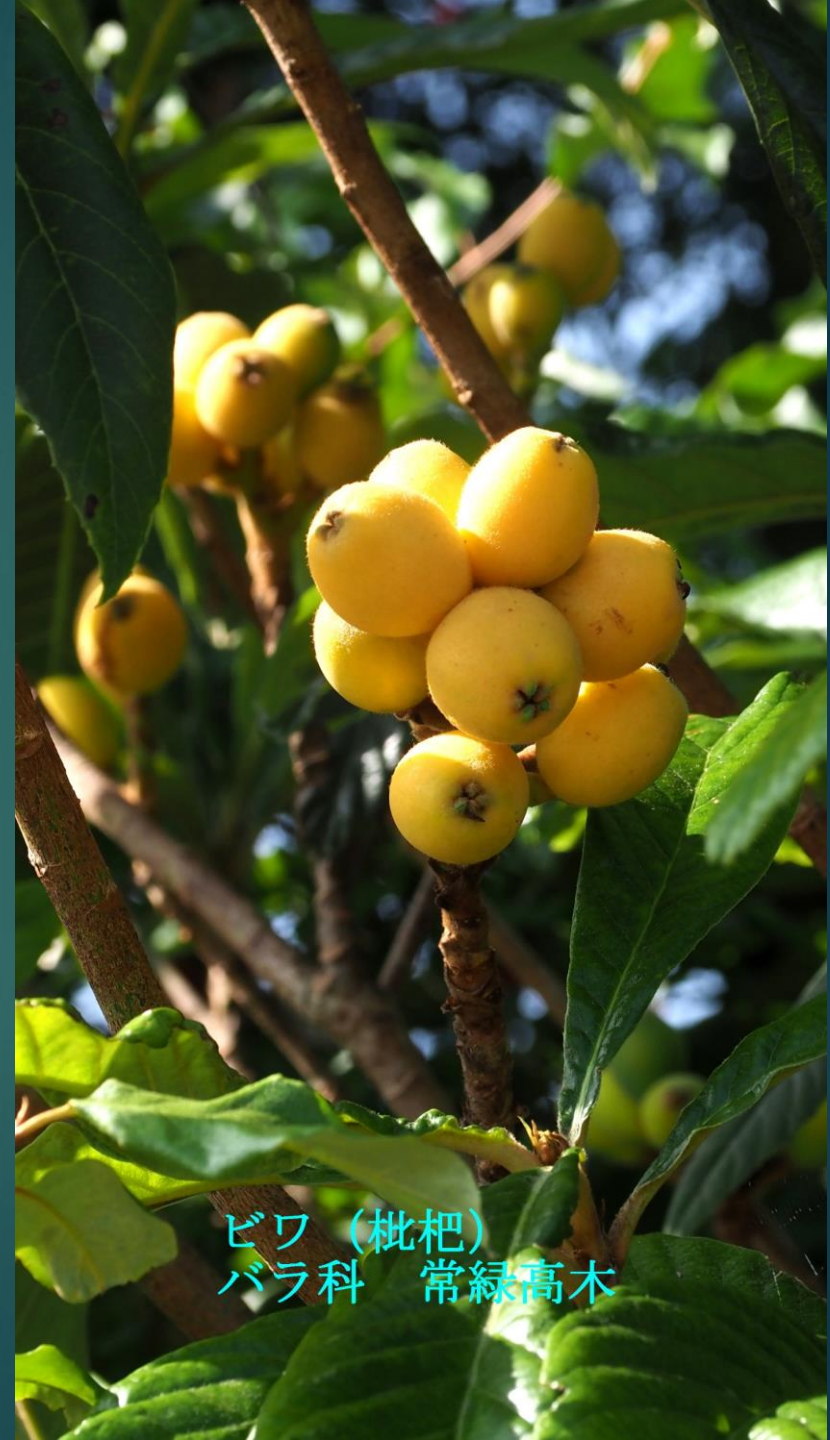
ユウゲショウ(夕化粧)  
アカバナ科 帰化植物  
別名：アカバナユウゲショウ



ホオジロ (頬白)  
ホオジロ科 L=16cm



テイカカズラ (定家蔓)  
キョウチクトウ科 有毒



ビワ (枇杷)  
バラ科 常緑高木



2022/06/03 8:07



ノハカタカラクサ(野博多唐草) ツユクサ科  
別名: トキワツユクサ(常盤露草)



メマツヨイグサ(雌待宵草)  
アカバナ科



2022/06/03  
8:12



2022/06/03  
8:16



2022/06/03  
8:30



2022/06/03  
8:52



ミヨウガ(花茗荷)  
ウガ科



### 可也山と石切り場

可也山は標高三百六十五メートル、東西約四キロメートル、南北約二キロメートルの独立峰で、東方から望む山容は富士山に似ており、糸島富士或いは小富士などとも呼ばれている。

万葉集巻十五に「草枕 旅を苦しみ 恋ひおれば 可也の山辺に さ雄鹿鳴くも」と詠まれているように古くから知られた山で、その名は朝鮮半島の伽耶地方に由来するとの説もある。

山塊は大部分が花崗閃緑岩からなるが、頂上付近には火山活動で噴出した玄武岩が見られる。特に山腹に露出する良質の花崗岩は、江戸時代初期を主体として近代に至るまで、城や寺社などの石造物の材料として利用された。

有名どころでは、栃木県日光東照宮、江戸城紅葉山、豊国神社、桜井神社などの石鳥居の建立にこの山の花崗岩が使われている。その中でも、元和四年(一六一八年)に黒田長政が普請した、江戸時代のものとしては我が国最大の日光東照宮大鳥居の建立の際には、難儀の末、六十トンを超える巨石をこの山から切り出し、海を渡り川を上らせ、途々日光まで運搬したという顛末が「黒田家譜」などの文獻に記されている。

現在のところ、明確にその時期まで遡及できる石切り場跡は確定されていないが、山腹の巨石に現在でも数多く残る矢穴(楔飛)が往時の様子を偲ばせる。

志摩観光協会

2022/06/03 8:52



## 可也山と石切り場

可也山は標高三百六十五メートル、東西約四キロメートル、南北約二キロメートルの独立峰で、東方から望む山容は富士山に似ており、糸島富士或いは小富士などとも呼ばれている。

万葉集卷十五に『草枕 旅を苦しみ 恋ひおれば可也の山辺に さ雄鹿鳴くも』と詠まれているように古くから知られた山で、その名は朝鮮半島の伽耶<sup>かや</sup>地方に由来するとの説もある。

山塊は大部分が花崗閃緑岩<sup>かこうせんりよくがん</sup>からなるが、頂上付近には火山活動で噴出した玄武岩が見られる。特に山腹に露出する良質の花崗岩は、江戸時代初期を主体として近代に至るまで、城や寺社などの石造物の材料として利用された。

有名などころでは、栃木県日光東照宮、江戸城紅葉山、警固神社、桜井神社などの石鳥居の造立にこの山の花崗岩が使われている。その中でも、元和四年（一六一八年）に黒田長政が普請した、江戸時代のものとしては我が国最大の日光東照宮大鳥居の造立の際には、難儀の末、六十トンを超える巨石をこの山から切り出し、海を渡り川を上<sup>のほ</sup>らせ、遙々日光まで運搬したという顛末<sup>てんまつ</sup>が『黒田家譜』などの文献に記されている。

現在のところ、明確にその時期まで遡<sup>そきゅう</sup>及できる石切り場跡は確定されていないが、山腹の巨石に現在でも数多く残る矢穴<sup>くさびあな</sup>（楔痕）が往時の様子を偲ばせる。

志摩観光協会



ハエドクソウ(蠅毒草)  
ハエドクソウ科



ハエドクソウ(蠅毒草)  
ハエドクソウ科

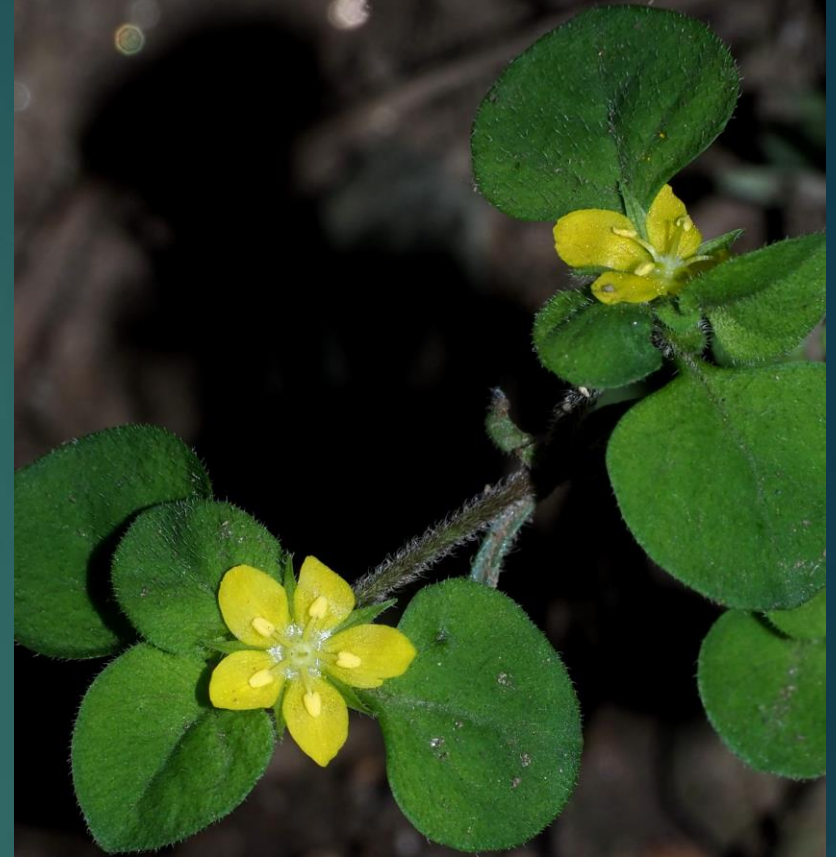


2022/06/03 9:04



ハナミョウガ(花茗荷)  
ミョウガ科

2022/06/03  
9:11



コナスビ(小茄子)  
サクラソウ科



オニタビラコ  
(鬼田平子)  
キク科



イチヤクソウ(一葉草)  
ツツジ科

クサイチゴ(草莓)  
バラ科 落葉小低木





2022/06/03 9:31  
可也山ブランコ



イチヤクソウ(一葉草)  
ツツジ科



可也神社

2022/06/03 9:57  
可也山神社



可也神社



イチヤクソウ(一薬草)  
ツツジ科





ツクシタツナミソウ  
(筑紫立浪草) シソ科





姫 島

立石山 (たていしやま) 210m

芥屋の大門 (けやのおおと)

2022/06/03 10:22

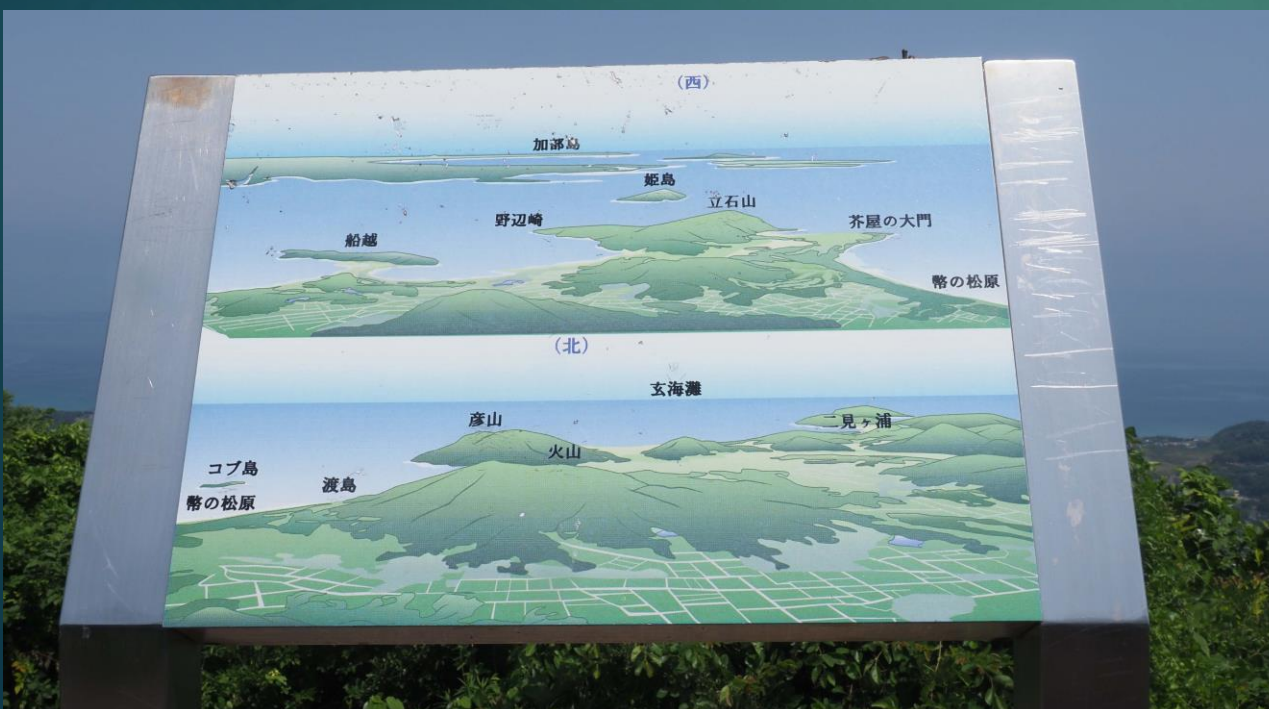
彦山 (ひこさん) 232m

火山 (ひやま) 281m

2022/06/03 10:28



スイカズラ(吸蔓) スイカズラ科 常緑つる性木本  
別名：ニンドウ(忍冬)、キンギンカ(金銀花)



マサキ (柎、正木)  
ニシキギ科



2022/06/03 11:23  
師吉(もろよし)登山口駐車場  
3時間20分の行動時間



END